

南紀白浜空港民間活力導入事業優先交渉権者選定の概要

和歌山県県土整備部
港湾空港局港湾空港振興課

1. 審査の経緯

(1) 審査委員会の委員

委員長	加藤 一誠	慶應義塾大学商学部教授
委員	竹林 明	和歌山大学観光学部教授
委員	目方 研次	エヴィス法律会計事務所弁護士
委員	和中 修二	和中全会計事務所公認会計士
委員	幕 亮二	株式会社MK総合研究所
委員	野田 寛芳	和歌山商工会議所専務理事

(2) 審査委員会の開催

第一次審査委員会	平成 30 年 1 月 17 日	・ 提案内容を選定基準に基づき評価・審査
第二次審査委員会	平成 30 年 5 月 11 日	・ 応募者からのプレゼンテーション ・ 提案内容を選定基準に基づき評価・審査 ・ 審査講評の検討

2. 提案項目の審査

(1) 第一次審査委員会

平成 29 年 11 月 21 日から募集を開始し、平成 30 年 1 月 5 日に第一次審査書類の提出期限としたところ 3 社からの提出があった。

資格審査において参加資格要件を確認したところ、1 社においては書類の不備があったことから参加要件なしとし、平成 30 年 1 月 17 日、第一次審査委員会において 2 社の提案内容について審査を行った。

審査委員会が決定した第一次審査参加者の得点は以下のとおりである。

	配点	経営共創基盤・みちのり HD・白浜館 コンソーシアム	白浜 HMI
事業手法	20	20	20

空港活性化方針	10	6.5	5.5
国際線受入機能を有した ターミナルの配置計画	5	3.5	3.25
実施体制方針	5	3	3
運営の効率化策	10	8	8
合計	50	41	39.75

第一次審査の結果を受けて、和歌山県は、経営共創基盤・みちのり HD・白浜館コンソーシアム及び白浜 HMI を第二次審査参加者として選定した。

(2) 第二次審査

第二次審査参加者を対象に競争的対話を実施し、第二次審査書類の提出を求めた。

平成 30 年 5 月 1 日を第二次審査書類の提出期限としたところ、第一次審査を通過した 2 社のうち 1 社から提出があった。

1 社の第二次審査書類について、平成 30 年 5 月 11 日、第二次審査委員会において、選定基準に基づき審査を行った。

審査委員会が決定した第二次審査参加者の得点は以下のとおりである。

審査項目	配点	経営共創基盤・みちのり HD・白浜館コンソーシアム
将来イメージ・基本コンセプト	10	8.5
事業手法	10	10
空港活性化計画	50	34
国際線受入機能を有した ターミナルの配置計画	20	15.25
安全・保安に関する提案	20	17
事業計画及び事業継続に 関する提案	20	14.25
実施体制	30	23.75
運営に関する公共負担額	40	40
合計	200	162.75

審査委員会の意見は下記のとおりである。

- ・ 第二次審査書類に記載された提案について、民間の創意工夫を発揮して、収支安定を図りつつ確実に実施すること。
- ・ 各種施策の実施に当たっては、地域住民・エアライン・地元地方公共団体・県と協力し、実施すること。

- ・実施体制について、空港の安全かつ安定的な運営ができる体制を確保すること。
- ・サービス水準の維持の観点から新たに利用者から料金を徴収する施策については、その内容を十分検討すること。

3. 選定結果

(1) 選定事業者

第二次審査の結果を受けて、和歌山県は、経営共創基盤・みちのりHD・白浜館コンソーシアムを優先交渉権者として選定した。

コンソーシアム名	経営共創基盤・みちのりHD・白浜館コンソーシアム
代表事業者	株式会社経営共創基盤
構成員	株式会社みちのりホールディングス 株式会社白浜館

(2) 提案の概要

①航空ネットワークの拡充

機材大型化と新規路線就航、チャーター便の誘致による旅客数の増加

⇒10年後 25万人、20年後 30万人に

②国際線ターミナルの新設

<規模>2,690 m²

1F(1,420 m²) CIQ、国際線の保安検査場および搭乗待合室、コンシェルジュスペース

2F(1,270 m²) ダイニング、商業スペース

③運営に関する公共負担額 24.5億円(10年間のサービス購入料)